

このガイドでは、自動投入の使い方の基本を簡単にご案内しています。
詳しくは、取扱説明書をご覧ください。



ご使用前に、取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

- 写真やイラストは、NA-FW100K9を使用しています。
- 写真やイラスト、色合いは説明用のため、実際とは多少異なります。

自動投入の使い方

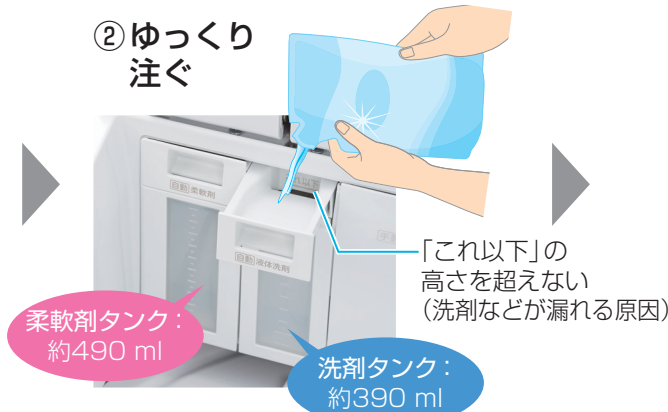
洗剤や柔軟剤をタンクに入れてから、自動投入の設定をしてください。

洗剤・柔軟剤の入れ方

① 引き出す



② ゆっくり注ぐ



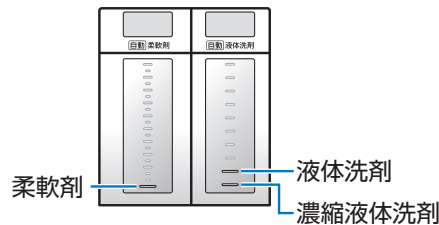
③ しっかり閉める



自動投入経路の詰まり防止のために

右図の目盛り以下になる前に補充してください。

- 残量が少ない状態で放置すると、洗剤や柔軟剤がゼリー状(固化)になったり分離して、経路が詰まる原因になります。そのような場合は「自動投入タンク・経路」のお手入れをしてください。



早めに補充
しましょう



洗剤・柔軟剤の基準量を設定する

1 電源を入れ、**洗剤** を 3秒以上押す

多め 標準 少なめ (洗剤) / 多め 標準 少なめ (柔軟剤)

Web →

すべて点灯

代表的な洗剤・柔軟剤の基準量

(水30 Lに対する使用量)

洗剤	ml	柔軟剤	ml
• アリエール • ボールド	30	• レノア	16
• アタック • トップ • ニュービーズ	25	• ソフラン • ハミング • フレア	10
• 遠心力21	15	• ふんわりソフラン	7
• ハレタ	13	• ハミングNeo	4
• アタックZERO • ナノックス	10		
• アリエール スピードプラス	9		

(2020年10月現在)

2 **予約** (減) **風呂水** (増) を押し、お使いの洗剤の基準量を設定する

(例) 25 mlの場合

3 **洗剤** を押す
(「ピピピピ」と鳴り、設定完了)

柔軟剤を設定するときは、**柔軟剤** を押してください。

→自動投入の設定は、裏面へ

自動投入に設定する / 設定を変更する

■ 自動投入したいとき

電源を入れ、**洗剤** を押す
(**スタート** を押すと、記憶されます)

- 運転も始まります。
運転しない場合は、電源を切ってください。

柔軟剤を設定するときは、**柔軟剤** を押してください。

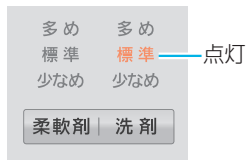
■ 投入量を変えるとき

「少なめ」か「多め」を選ぶ (記憶されません)

■ 自動投入をやめるとき

表示を消灯させる

予約設定時に液体洗剤を使用する場合は、洗剤自動投入を使用してください。手動投入で液体洗剤を使用すると色落ちなどの原因になります。

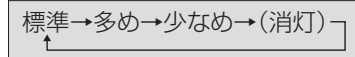


自動投入表示の見方

(例) 洗剤、柔軟剤ともに自動投入の場合

多め	多め	点滅	投入中
標準	標準	点灯	洗剤/柔軟剤が自動投入できます
少なめ	少なめ	消灯	自動投入できません (手動投入する)

- 押すたびに切り換わります。



Web >>>



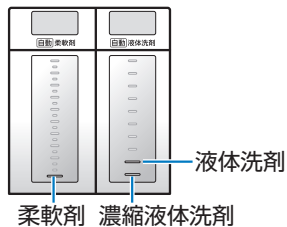
自動投入タンク・経路のお手入れ

- 3か月ごと
- 洗剤や柔軟剤の種類を変えるとき
- 1か月以上使わなかったとき

洗剤や柔軟剤は…

右図の目盛り以下になるまで使い切ってください。

洗剤や柔軟剤が入ったままタンクを取り出すと、多量に液だれします



「準備」 水栓を開ける。(衣類は入れない)

1 タンクに残った洗剤/柔軟剤を排出させる

- 電源「切」の状態
- ① **洗剤** を押しながら **入** を押す。(3分が表示)
 - ② **スタート** を押す。(運転開始)
→ 約3分後ブザーが鳴り **oA** が表示されます。
- 柔軟剤タンクのときは、**柔軟剤** を押してください。

2 oAが表示されたら、タンクを取り出す



- 洗剤などが垂れたときは拭き取る。

お願い
ジョイント部は拭かないで!
(詰まる原因)

3 タンクとふたを洗う (ぬめりが取れるまで)



(お湯につけて約30分ほど放置するとぬめりが取れやすくなる)

4 タンクにふたをして元に戻す



- 下の方をしっかりと奥まで押し込む。

カチッ

5 「これ以下」の高さまで約40℃のお湯を入れる

- お手入れ効果を高めたいとき/井戸水を使用している場合
クエン酸 (小さじ2杯) を溶かしたお湯を入れてください。 → 取扱説明書 P.40

6 洗濯機のふたを閉め、スタートを押す

→ 約7分後にブザーが鳴り電源が切れます。

7 タンクを取り出し、残水を捨て、水分を拭き取る

(クエン酸を入れたときは、タンクを水洗いしてください)



本体側も拭き取る

8 タンクを元に戻す

- 下の方をしっかりと奥まで押し込む。

Web >>>

